



カメラ レポート



三十五年ぶりに母校のあった地に集った約百人の井の沢小中学校卒業生。校歌を合唱したり、恩師や同窓生との話に花を咲かせたり、ほんとうに懐かしそうでした。

四月八日には少年柔道教室の皆さんが、南国バイパス（物部一介良）をリレー。交通安全と防犯のPR。



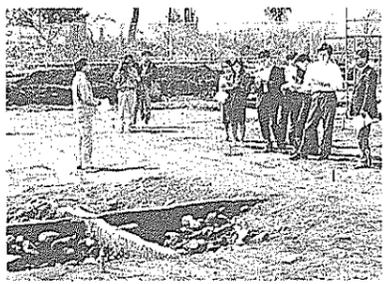
春の交通安全運動期間中の四月六日、市農協前で交通安全市民会議の皆さんら百二十人が、ドライバーに安全運転を呼びかけました。



土器に生活の おおい

弥生後期・祭祀関連か

金地遺跡発掘調査



土器が多量に出土した竪穴住居跡

二棟、掘建柱建物跡三棟、土坑、溝などが検出されましたが、このうち一棟の竪穴住居跡から多量の弥生後期の土器が、また、一基の土坑では土器が丁寧に重ねられた状態で出土。この土坑から出土した土器は特別な目的で埋め込んだと思われる、この遺跡は祭祀関連のものであったのではないかと見られています。溝のうち一条は、時代を特定することはできないものの、弥生時代の住居跡を囲んでおり、この時代のものではあれば、区画溝であった可能性があります。

出土遺物は、弥生後期の壺や甕、砥石、石錘、平安時代の幼児の骨壺、中世の坏など約三百点。中でも骨壺は丁寧に作りで、この形態は県内ではあまり出土例がなく、注目されています。三月三十一日には説明会が開催され、雨天にもかかわらず、熱心な考古ファン六十人が参加しました。

鈴江農機本社工場が金地に移転するに伴い、発掘調査が行われ、二月に調査が行われた東崎遺跡など、長岡台地の一連の遺跡と同時代の弥生後期の竪穴住居跡などを確認。煮炊きした跡が残る甕や貯蔵用の壺、砥石など、生活のおいにする遺物が多数出土しました。金地遺跡は、長岡台地の南側から部分的に張り出した小段丘上に立地する、弥生後期、平安から中世までの複合遺跡です。今回の調査では、竪穴住居跡

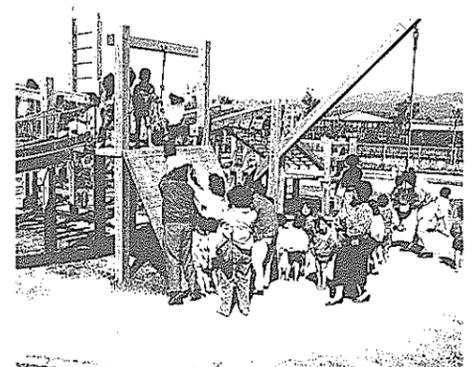


三月十二日、伊野町の高知県消防学校で開かれた婦人の一日入校に、駅前町防火クラブ（中村朋子会長）が参加。火災予防講話や油火災の消火訓練などを通して、防火、防災への理解を深めました。

トリム広場で

リフレッシュ

久枝にアスレチック場



完成したトリム広場に子供たちの歓声

スポーツで心身ともに健康に――県が運輸省の補助を受けて久枝に整備を進めていた高知空港緑の広場「トリム広場」がこのほど完成しました。

トリムとは、船のバランスをとるといふノルウェーの造船用語で、翻ってスポーツによって心身のバランスを整えようと呼

びかける標語でもあります。トリム広場は、日時計のあるセンター広場を中心に、子供から大人まで楽しめる平均台や障害物渡りなどのアスレチックコース（トリムコース）、大型遊具などがあり、面積七、四〇〇平方メートル、一億八千四百四十四万円をかけて整備されました。高知空港緑の広場は昨年オープンしたテニス場と合わせて約五〇割が完成、二年度以降ゲートボール場や芝生広場などが整備されることになっています。

四月十八日には、大湊保育所の園児六十人が訪れ、今子供たちのお面を着け、歓声を上げながらコンピュータシミュレーション遊具などで遊んでいました。晴れた休日には既に大勢の市民が訪れて利用していますが、

祝第二土佐希望の家落成



あいさつする山崎理事長

長ら約二百人が出席して落成式が行われました。

この施設は土佐希望の家（山崎勲理事長）が常時満床状態の施設を拡充しようと、現施設のすぐ下に昨年十月から建設していたもので、鉄筋コンクリート平屋建三棟、延べ床面積二、〇三三平方メートル。定員は五十人です。新施設建設に当たっては全国から八千五百万円を越える寄付が寄せられました。

落成式で山崎理事長は「多くの人々の協力を得て善意の結晶の第二土佐希望の家ができました。重い障害に負けることなく障害者と共に戦っていききたい」と話していました。

土曜市が

組合法人化

近代化を目指す

南国市土曜市組合（中村朋子理事長）が組合法人化され、四月十日に設立総会が行われました。

土曜市組合は、昭和四十四年に、市制施行十周年を記念して発足。四十二年には後免町から現在の大浦に移転、五十九年には愛媛県広見町の近永日曜市と姉妹市縁組を行うなど、市民に親しまれる土曜市として発展してきました。

昨年、二十周年を契機に近代化を目指して法人化などを計画。この協同組合化で国の高度化資金の利用や、品物の共同購入ができるようになり、関係者は「一層の発展を」と期待を膨らませていきます。

【南国市の廃棄物を考える】
【中】は五月十五日号に掲載します。

温かい支援集めた 善意の結晶 第2土佐希望の家完成

重症心身障害児・者施設「第二十土佐希望の家」がこのほど完成。四月二十二日に、知事、市